

バクチャーゼとは商品名であり、一種類の菌を特定した呼称ではなく、多種多様な有効微生物群が含まれた好気性菌主体の資材であり、高温発酵能力が高く、有機物の分解や腐植化する能力に優れた資材である。そのためハウス土壌の太陽熱処理に使用すると地温をより上昇させられるので土壌病害菌の抑制に効果的である。



NET 1kg



●使用目的

バクチャーゼは、堆肥やボカシ肥を作るための種菌として使用したり、収穫終了後の圃場に残っている残渣をそのまま土中堆肥化したりすることで、次のような効果が期待できる。

残渣など有機物の分解発酵
 地方の維持・向上
 土壌障害の軽減

●使用事例

◆ホウレンソウのハウス栽培

播種後の発芽率が極端に悪く、発芽しても、枯れてしまい栽培できない事例に散布し（米ヌカ＋バクチャーゼ）耕起した後ハウスを締め切り2〜3週間蒸し込んだ（夏場）。その後は、順調に栽培可能となった。

<バクチャーゼによる土中堆肥化の方法>

(10 a 当たり)

圃場に残存する有機物	バクチャーゼ	米ヌカ	鶏フン(有機N源)	土中堆肥化の方法
稲ワラや稲株	1袋(1kg)	30kg	60~100kg	稲ワラや畑作の残渣は、収穫を終えた後、早いうち(地温の高いとき)にバクチャーゼ+米ヌカ+鶏フン(または、バクチャーゼK)を全面散布し、作付けまでに数回耕起することで土中堆肥化が促進されます。
麦ワラや麦株	1袋(1kg)	30kg	100~150kg	
緑肥や作物残渣	1袋(1kg)	30kg	60~100kg	

